

バイヤーズガイド Buyers' Guide

Mac OS 搭載機

いまマックはどれが買い？

上位機のクロック・アップでコスト・パフォーマンスは全体に向上

Mac OS 搭載機として、互換機を含むデスクトップ型、PowerBook の市場動向をまとめてチェックした。最近、クロック周波数300MHzを越える機種が登場、Apple の互換機戦略の方向転換とさまざまな出来事があった。それらを受けて市場の動向がどう変わったか？ ボーナス・シーズンに向け購入の参考にさせていただきたい。

ここ1年ほど、マック市場は混とんとしている。ハイエンド機が欲しい、パーソナル・ユース向けの低価格機が欲しい、またはPowerBook が欲しい、といった大づかみのニーズで大体分けることはできる。だが、具体的に見ていくと、本当にお買い得なマシンはどれなのか、判断しにくい状況が続いている。

デスクトップ型の動向

97年7、8月号でMac OS 搭載機の状態をまとめてから、市場に出回っている製品のラインナップ自体には大きな変化はない。基本的にコスト・パフォーマンスの高い製品のボリューム（20万～30万円）も変わっていない。最も大きな

製品名	CPU (PowerPC)	クロック周波数 (MHz)	搭載OS	HD (MB) / インタフェース	標準 / 最大メモリ (MB)	2次キャッシュ (KB)	内蔵CD-ROMドライブ	PCIスロット数	付属拡張カード
アップルコンピュータ									
twentieth anniversary Macintosh	603e	250	Mac OS 7.6.1	2000 / IDE	32 / 136	256	4倍速	1	TV/FMチューナー、33.6kbps FAXモデム
Power Macintosh 9600/350	604e	350	Mac OS 7.6.1	4000 / SCSI	64 / 768	1024	24倍速	6	Twin Turbo 128
Power Macintosh 9600/300	604e	300	Mac OS 7.6.1	4000 / SCSI	64 / 768	1024	24倍速	6	Twin Turbo 128
Power Macintosh 9600/233	604e	233	漢字Talk 7.5.5	4000 / SCSI	32 / 768	512	12倍速	6	Twin Turbo 128
Power Macintosh 8600/250	604e	250	Mac OS 7.6.1	4000 / SCSI	32 / 512	1024	24倍速	3	-
Power Macintosh 8600/200	604e	200	漢字Talk 7.5.5	2000 / SCSI	32 / 512	256	12倍速	3	-
Power Macintosh 7600/200	604e	200	漢字Talk 7.5.5	2000 / SCSI	32 / 512	256	12倍速	3	-
Power Macintosh 7300/180	604e	180	漢字Talk 7.5.5	2000 / SCSI	16 / 512	256	12倍速	3	-
Power Macintosh 7300/166	604e	166	漢字Talk 7.5.5	2000 / SCSI	16 / 512	256	12倍速	3	-
Power Macintosh 5500/225	603e	225	Mac OS 8	4000 / IDE	32 / 128	256	24倍速	1	33.6kbps FAXモデム
Power Macintosh 4400/200	603e	200	Mac OS 7.6.1	2000 / IDE	32 / 160	なし	12倍速	2	33.6kbps FAXモデム
Macintosh Performa 6420	603e	200	漢字Talk 7.5.3	2400 / IDE	24 / 136	256	8倍速	2	Avid Cinemaカード、TV/FMチューナー、28.8kbps FAXモデム
Macintosh Performa 6410	603e	180	漢字Talk 7.5.3	1600 / IDE	16 / 136	なし	8倍速	2	28.8kbps FAXモデム
Macintosh Performa 5440	603e	180	漢字Talk 7.5.3	1600 / IDE	16 / 136	なし	8倍速	1	TV/FMチューナー、28.8kbps FAXモデム

ビデオ表示機能は、13（インチ）は640×480ドット、16（インチ）は832×624ドット、19（インチ）は1024×768ドット、21（インチ）は1152×870ドット、のディスプレイ表示可能領域を示す。また、表中の数字は、24（ビット）が約1670万色、16（ビット）が約3万2000色、8（ビット）が256色、の表示可能色数を示す。

“事件”は、後述するAppleの互換機戦略の方針変更だ。

型落ちのミッド・レンジ機，コンシューマー機のお買い得感がアップ

前回に習い、参考として61ページに9月下旬時点のコスト・パフォーマンス相関図を掲載した。この図は、ハードウェアの装備や、バンドル・ソフトなど“付加価値”の部分をまったく考慮していない。はっきり言って少々乱暴なものだが、大ざっぱに各機種のコスト・パフォーマンスの傾向をつかむことはできる。

9月に新CPUを搭載したPower Mac 9600/350(図2)、同9600/300、同8600/250の3機種が登場し、その他の機種が型落ちの格好となったため、全体に低価格化している。

今お買い得感が高いのは、Appleならバンドル・ソフトの

豊富なオール・イン・ワンの「Power Mac 4400/200」(図9)、ミッド・レンジの「同7300/180」(図6)、「同7600/200」(図5)、1世代前のハイエンド機「同9600/233」(図3)、アキアなら「MicroBook Power 604e/233SP」(図12)、Motorolaなら「StarMax 400/200T」(図14)、UMAXなら「Pulsar 2330/VR」、ラディウスなら「SUPERmac J700/225AV」(図20)といった辺りだ。特に、装備は多少

表の見方

現在市場で入手可能な、互換機を含むMac OS搭載機をまとめた。秋葉原のSofmap、T-ZONE、ラオックスの3店、および新宿のヨドバシカメラOA総合館、ビックパソコン館の2店、計5店で取り扱い状況および実売価格の状況を調べ、「市場平均価格」とした(9月下旬現在)。



入手容易マーク
上記5店中3店以上の店頭
で取り扱いがあったもの



お買い得マーク
実売価格、値引き
率などから判断

VRAM 標準/最大 (MB)	13	16	19	21	25	32	64	128	160	Ether netポート	幅×高さ×奥行き (mm)	重さ (kg)	その他	市場平均価格
-----------------	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	--------------	---------------	---------	-----	--------

2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	x	419 x 483 x 254	6.7	12.1インチ・カラーTFT液晶、Sビデオ入力端子、キーボード	-
8	24	24	24	24	24	24	24	24	24	-	246 x 439 x 440	15.9	内蔵ZIPドライブ 3	66万8000円
8	24	24	24	24	24	24	24	24	24	-	246 x 439 x 440	15.9	内蔵ZIPドライブ 3	54万1200円
4	24	24	24	24	24	16	16	16	16	-	246 x 439 x 440	15.9		40万7100円
2/4	24	24	24	16	16	8	-	-	-	-	246 x 439 x 440	15.9	Sビデオ入出力端子、内蔵ZIPドライブ 3	43万9500円
2/4	24	24	24	16	16	8	-	-	-	-	246 x 439 x 440	15.9	Sビデオ入出力端子、内蔵ZIPドライブ	33万4300円
2/4	24	24	24	16	16	8	-	-	-	-	365 x 156 x 430	10	Sビデオ入力端子	26万5500円
2/4	24	24	24	16	16	8	-	-	-	-	365 x 156 x 430	10		21万6000円
2/4	24	24	24	16	16	8	-	-	-	-	365 x 156 x 430	9.98		-
2	24	24	24	16	16	8	-	-	-	x	383 x 445 x 406	21.2	内蔵15インチ・マルチスキャン・ディスプレイ、キーボード	-
2/4	24	24	16	16	16	8	-	-	-	x	385 x 139 x 442	9.5	キーボード、ペンタブレット「ImagePad」 ⁴	19万8200円 ⁵
1	16	16	16	8	8	-	-	-	-	x	198 x 406 x 428	20.2	キーボード、Sビデオ入出力端子	21万8300円
1	16	16	16	8	8	-	-	-	-	x	198 x 406 x 428	20.2	キーボード	14万9700円
1	16	16	16	8	-	-	-	-	-	x	383 x 445 x 406	21.2	内蔵15インチ・マルチスキャン・ディスプレイ、キーボード、Sビデオ入力端子	19万7900円

1 オプション。
2 約26万色表示。
3 ZIPドライブを内蔵しないモデルもあり(10月発売予定)。
4 グラフィック・モデルのみ付属。
5 スタンダード・モデルの市場平均価格。グラフィックス・モデルは、市場平均価格23万3000円。



図1 twentieth anniversary Macintosh (アップルコンピュータ)



図2 Power Macintosh 9600/350 (アップルコンピュータ)



図3 Power Macintosh 9600/233 (アップルコンピュータ)



図4 Power Macintosh 8600/200 (アップルコンピュータ)

異なるが、Pulsar 2330VRは他の604e/233MHz機に比べ10万円ほど安く、今最もお買い得な機種の一つだ。

PowerPC 603e/180MHz搭載のコンシューマー向け低価格機でも、かなり値ごろ感が出てきている。Appleの「Performa 6410」、Motorolaの「StarMax 3000/180D」、UMAXの「Apus 3000/180」、ラディウスの「SUPERmac C500/180」といった機種は、同じボード・デザインで同等

スペックのマシンだが、今や実売15万円程度で手に入る。

これらの機種（StarMaxを除く）はバンドル・ソフトも豊富なので、「とにかく速くなくては」という場合以外は、始めの1台として意外にお買い得である。

また下表には入っていないが、最近StarMaxベース（604e/200MHz）のショップ・ブランド機が激安で販売されている。15万円ほどの製品もあるので要チェックだ。

製品名	CPU (PowerPC)	クロック周波数 (MHz)	搭載OS	HD (MB) / インタフェース	標準 / 最大メモリ (MB)	2次キャッシュ (KB)	内蔵CD-ROMドライブ	PCIスロット数	付属拡張カード
アキア									
MicroBook Power 604e/233SP	604e	233	Mac OS 7.6	4000 / SCSI	80 / 1040	512	12倍速	6	Twin Turbo 128
MicroBook Power 603e/240	603e	240	Mac OS 7.6	2000 / EIDE	48 / 144	256	8倍速	2	ATI Xclaim VR
日本モトローラ									
StarMax 4000/200T	604e	200	漢字Talk 7.5.3	2500 / EIDE	32 / 160	512	8倍速	5	-
StarMax 4000/160T	604e	160	漢字Talk 7.5.3	2500 / EIDE	32 / 160	512	8倍速	5	-
StarMax 4000/160D	604e	160	漢字Talk 7.5.3	1200 / EIDE	16 / 160	512	8倍速	3	-
StarMax 3000/240T	603e	240	Mac OS 7.6	2500 / EIDE	32 / 160	512	8倍速	5	-
StarMax 3000/200T	603e	200	漢字Talk 7.5.3	2500 / EIDE	32 / 160	256	8倍速	5	-
StarMax 3000/180D	603e	180	漢字Talk 7.5.3	1200 / EIDE	16 / 160	256	8倍速	3	-
ユーマックスジャパン									
Pulsar 2500	604e	250	Mac OS 7.6	4000 / SCSI	48 / 1040	512	12倍速	6	Twin Turbo 128
Pulsar 2330VR	604e	233	Mac OS 7.6	2000 / SCSI	32 / 1040	512	8倍速	6	ATI Xclaim VR
Apus 3000/240	603e	240	漢字Talk 7.5.5L	2100 / IDE	32 / 144	256	8倍速	3	ATI Xclaim VR
Apus 3000/180	603e	180	Mac OS 7.6	1200 / IDE	16 / 144	なし	8倍速	3	-
Apus 2000/200VR	603e	200	Mac OS 7.6	1200 / IDE	48 / 144	512	8倍速	2	ATI Xclaim VR
Apus 2000/200	603e	200	漢字Talk 7.5.5L	1200 / IDE	32 / 144	256	8倍速	2	-
Apus 2000/160	603e	160	漢字Talk 7.5.5L	1200 / IDE	16 / 144	なし	8倍速	2	-



図5 Power Macintosh 7600/200 (アップルコンピュータ)



図6 Power Macintosh 7300/180 (アップルコンピュータ)



図7 Power Macintosh 7300/166 (アップルコンピュータ)



図8 Power Macintosh 5500/225 (アップルコンピュータ)

互換機 いまが買いどき

このところ、最も劇的な変化あったのは、製品ラインナップを賑やかにしてきた互換機市場だ。Appleは9月、主要互換機メーカーの1つである米Power Computing社のMac OS機部門を買収し、これまで進めてきた互換機戦略に事実上の終止符を打った。

この衝撃的なニュースを皮切りに、“PowerPC連合”の

同志、米Motorolaとの間のMac OSライセンス交渉も決裂し、CHRPも含めた“Mac OS互換機”市場そのものの先行きが、極めて不透明な状態になっている。

では、互換機を買うのはもはや得策ではないのだろうか？ そうとばかりは言えない。互換機とは言っても、もともと実質的な差は価格設定と“リンゴ・マーク”くらいである。

現在Mac OS搭載機は、Appleの認定テストを経た3種類

VRAM 標準/最大 (MB)	800	13	16	19	21	1280	1600	Ether netポート	幅×高さ×奥行き (mm)	重さ (kg)	その他	市場平均価格
4	x	24	24	24	24	16	16	x	178 x 438 x 445	13	カラーTFT液晶ディスプレイ ⁶ 、キーボード	38万8000円
4	x	24	24	24	24	16	16	x	101 x 344 x 406	7	カラーTFT液晶ディスプレイ ⁶ 、キーボード	23万8000円
2/4	x	24	24	16	16	16	8	-	183 x 386 x 381	10.9	キーボード	24万3000円
2/4	x	24	24	16	16	16	8	-	183 x 386 x 381	10.9	キーボード	20万8000円
2/4	x	24	24	16	16	16	8	-	414 x 107 x 417	9.1	キーボード	-
4	x	24	24	24	24	16	16	-	183 x 386 x 381	10.9	キーボード	24万8000円
1/4	x	16	16	8	8	8	-	-	183 x 386 x 381	10.9	キーボード	17万8000円
1/4	x	16	16	8	8	8	-	-	414 x 107 x 417	9.1	キーボード	14万8000円
8	x	24	24	24	24	24	24	x	178 x 438 x 445	13	キーボード	54万8000円
4	x	24	24	24	24	16	16	x	178 x 438 x 445	13	キーボード、Sビデオ入出力端子	29万8000円
2/4	x	24	24	24	16	16	8	-	171 x 392 x 406	10	キーボード、ステレオ・スピーカー	24万7900円
1	x	16	16	8	8	-	-	-	171 x 392 x 406	10	キーボード	15万8000円
4	x	24	24	24	24	16	16	x	349 x 101 x 406	7.2	キーボード	23万7900円
1	x	16	16	8	8	-	-	-	349 x 101 x 406	7.2	キーボード	17万8000円
1	x	16	16	8	8	-	-	-	349 x 101 x 406	7.2	キーボード	-

6 オプション。12.1インチおよび13.8インチのモデルがある。



図9 Power Macintosh 4400/200 (アップルコンピュータ)



図10 Macintosh Performa 6420 (アップルコンピュータ)



図11 Macintosh Performa 5440 (アップルコンピュータ)



図12 MicroBook Power 604e/233SP (アキア)

のボード (Apple製のミドル~ハイエンド向けの「Tsunami」、コンシューマー向けの「Alchemy」と、AlchemyをベースにしたMotorola製の「Tanzania」) がベースとなっており、製品の互換性に問題はない。加えて、メーカー独自の付加価値でコスト・パフォーマンスは高い。

むしろこれから、予想、そして期待されるのは、将来性に対するイメージ・ダウンから、投げ売り状態で価格が大

幅に下落し、結果としてさらに買い得感が増すことだ。

9月下旬時点での価格調査では、互換機の状況にまだそれほど大きな影響は現れていない。狙い目はこれから年末辺りと思われる。

ただし、これから互換機を購入しようという場合、OSのアップデートという留意点がある。現時点で、製品にMac OS 8Jを付属して出荷できる権利を持っているのはユーマッ

製品名	CPU (PowerPC)	クロック周波数 (MHz)	搭載OS	HD (MB) / インタフェース	標準 / 最大メモリ (MB)	2次キャッシュ (KB)	内蔵CD-ROMドライブ	PCIスロット数	付属拡張カード
ラディウス									
SUPERmac S900/250 T3D	604e	250	Mac OS 7.6	4000 / SCSI	144 / 1040	512	12倍速	6	Radius Thunder 3D
SUPERmac S900/250 T19	604e	250	Mac OS 7.6	4000 / SCSI	144 / 1040	512	12倍速	6	Radius ThunderPower 30/1920
SUPERmac S900/225 T3D	604e	225	漢字Talk 7.5.3L	2000 / SCSI	32 / 1040	512	8倍速	6	Radius Thunder 3D
SUPERmac S900/225 T19	604e	225	漢字Talk 7.5.3L	2000 / SCSI	32 / 1040	512	8倍速	6	Radius ThunderPower 30/1920
SUPERmac J700/225 T16	604e	225	Mac OS 7.6	2000 / SCSI	16 / 1024	512	8倍速	4	Radius ThunderPower 30/1600
SUPERmac J700/225AV	604e	225	Mac OS 7.6	2000 / SCSI	16 / 1024	512	8倍速	4	ATI Xclaim VR
SUPERmac C500/180 (新)	603e	180	Mac OS 7.6	1200 / IDE	16 / 144	なし	8倍速	2	-
SUPERmac C500/180	603e	180	Mac OS 7.6	1200 / IDE	32 / 144	256	8倍速	2	-
マルチ・プロセッサ機									
MicroBook Power 604e/250DP (アキア) ⁷	604e x 2	250	Mac OS 7.6	4000 / SCSI	272 / 1040	512	12倍速	6	Twin Turbo 128
MicroBook Power 604e/233DP (アキア) ⁷	604e x 2	233	Mac OS 7.6	4000 / SCSI	144 / 1040	512	12倍速	6	Twin Turbo 128
Power Macintosh 9600/200MP (アップル)	604e x 2	200	漢字Talk 7.5.5MP	4000 / SCSI	32 / 768	512	12倍速	6	Twin Turbo 128
Genesis MP 800+ (米DayStar Digital社)	604e x 4	200	漢字Talk 7.5.3MP	-	- / 1500	512	8倍速	6	-
Genesis MP 720+ (米DayStar Digital社)	604e x 4	180	漢字Talk 7.5.3MP	-	- / 1500	512	8倍速	6	-
Genesis MP 400+ (米DayStar Digital社)	604e x 2	200	漢字Talk 7.5.3MP	-	- / 1500	512	8倍速	6	-
Genesis LT 400+ (米DayStar Digital社)	604e x 2	200	漢字Talk 7.5.3MP	2000 / SCSI	16 / 1040	512	8倍速	6	Twin Turbo 128
Pulsar 2500DP (ユーマックスジャパン)	604e x 2	250	Mac OS 7.6	4000 / SCSI	144 / 1040	512	12倍速	6	Twin Turbo 128

⁷ このほか、640MB MOドライブを内蔵した「creative workstation」モデルが用意される



図13 MicroBook Power 603e/240 (アキア)



図14 StarMax 3000 (左) / 同4000 (右) (日本モトローラ)



図15 Pulsar 2500 (ユーマックスジャパン)



図16 Apus 3000/240 (ユーマックスジャパン)

クスジャパンのみ。今後将来に渡って互換機メーカーが最新のMac OS (例えば今ならばMac OS 8) をバンドルして製品を出荷できるという可能性は低い。

Mac OS 7.6を所有していれば、Mac OS 8に有償(1万2000円)でバージョンアップ・サービスを受けられるが、逆に言えば互換機を購入すると、今後は必ず最新OS分のコストが加わってしまうことになる。

新機種のポイントは“G3チップ”と新しい2次キャッシュ・システム

現在の最上位機種グループは、300MHz超の“G3(第三世代)”PowerPC 604e(開発コード名「Mach 5」)を搭載した「Power Mac 9600/350」と「同9600/300」、「同8600/250」。9月に登場したばかりの製品だ。CPU自体の高速化に加えて、「インライン・キャッシュ」という新しい2次

VRAM 標準/最大 (MB)	800	13	16	19	21	1280	1600	Ether netポート	幅×高さ×奥行き (mm)	重さ (kg)	その他	市場平均価格
-----------------	-----	----	----	----	----	------	------	--------------	---------------	---------	-----	--------

8	24	24	24	24	24	24	24		178 × 438 × 445	12.7	キーボード	59万8000円
6	24	24	24	24	24	24	24		178 × 438 × 445	12.7	キーボード	49万8000円
8	24	24	24	24	24	24	24		178 × 438 × 445	12.7	キーボード	51万8000円
6	24	24	24	24	24	24	24		178 × 438 × 445	12.7	キーボード	38万3000円
6	24	24	24	24	24	24	24	x	419 × 165 × 438	12.7	キーボード	31万8000円
4	24	24	24	24	24	16	16	x	419 × 165 × 438	12.7	キーボード	27万8000円
1	16	16	8	8	-	-	-	x	349 × 101 × 406	7.2	キーボード	-
1	16	16	8	8	-	-	-	x	349 × 101 × 406	7.2	キーボード	14万8000円

得

8	24	24	24	24	24	24	24		178 × 438 × 445	13	カラーTFT液晶ディスプレイ ⁶ , キーボード	-
8	24	24	24	24	24	24	24		178 × 438 × 445	13	カラーTFT液晶ディスプレイ ⁶ , キーボード	54万8000円
4	24	24	24	24	24	16	16		246 × 439 × 440	15.9		52万3900円
-	-	-	-	-	-	-	-		215 × 540 × 565	25		-
-	-	-	-	-	-	-	-		215 × 540 × 565	25		-
-	-	-	-	-	-	-	-		215 × 510 × 565	25		-
4	24	24	24	24	24	16	16		178 × 438 × 445	12.7		-
8	24	24	24	24	24	24	24		178 × 438 × 445	13	キーボード, 内蔵230MB MOドライブ	95万8000円



図17 Apus 2000/200 (ユーマックスジャパン)



図18 Apus 2000/160 (ユーマックスジャパン)



図19 SUPERmac S900/250 (ラディウス)



図20 SUPERmac J700/225 (ラディウス)

キャッシュ・システムを搭載したことで、さらにパフォーマンスを向上させている(97年9月号MacScope「ハイエンド・ユーザー向け高速マック登場」参照)。

今後新機種のスぺックでポイントとなるのが、このG3チップと新しい2次キャッシュ・システムだ。G3チップには、前述のMach 5と呼ばれる高クロック周波数のPowerPC 604eと、「Arthur」と呼ばれるPowerPC 603e後継の「PowerPC 750」の2種類がある。

現時点では、Arthurチップを搭載した機種はAppleから登場しておらず、国内でも販売されていない。米国では、PowerTools社やPowerComputing社といった互換機メーカーが搭載製品を発表している。また、後述するサード・パーティー製のPCIマック用PowerPCプロセッサ・カードも、Arthurを搭載した製品が登場している。

2次キャッシュ・システムには、Appleが採用したインライン・キャッシュ方式と、「バックサイド・キャッシュ」方式がある。共に、マザー・ボード(システム・バス)上にCPU用の2次キャッシュ・メモリーを置くこれまでの「ルックアサイド・キャッシュ」方式と異なり、CPUと2次キャッシュの間のアクセス速度を高速化する。

インライン・キャッシュは、システム・バスとCPUの間に2次キャッシュとCPU側、システム・バス側の同期を取る専用コントローラーを置く。CPUと2次キャッシュ間のアクセス速度をクロック周波数の1/2程度まで高速化できる。このやり方は従来のCPUと互換性があるため、例えば、UMAXは同社のPowerPC 603e搭載機「Apus」シリーズ向けに追加オプションとして出荷している(97年8月号新製品フラッシュ参照)。

一方、バックサイド・キャッシュは、CPUにキャッシュコントローラーを内蔵し、CPUと2次キャッシュ間を専用バスでつなぐ。システム・バスとの同期を取る必要がないため、アクセス速度をCPUのクロック周波数まで引き上げられる。ただし、当然CPUが対応している必要があり、現時点ではArthurチップでしか利用できない。今後Arthur搭載機では標準装備となるだろう。

9600/350は現時点の最速機種だが、Appleからこの年末にも登場すると言われているArthur + バックサイド・キャッシュ搭載次世代機への“つなぎ”である感が否めない。店頭在庫状況も品薄が続いている。「今最速機が欲しい」というのでなければ、様子を見た方がいいだろう。

製品名	CPU (PowerPC)	クロック周波数 (MHz)	搭載OS	HD (MB) / インタフェース	標準 / 最大メモリー (MB)	2次キャッシュ (KB)	内蔵CD-ROMドライブ	内蔵液晶ディスプレイ (800 x 600ドット / 3万2768色表示)
Macintosh PowerBook 3400c/240	603e	240	MacOS 7.6	3000 / IDE	16 / 144	256	12倍速	12.1インチTFTカラー液晶
Macintosh PowerBook 3400c/200	603e	200	MacOS 7.6	2000 / IDE	16 / 144	256	12倍速	12.1インチTFTカラー液晶
Macintosh PowerBook 2400c/180	603e	180	MacOS 7.6	1300 / IDE	16 / 80	256	なし	10.4インチTFTカラー液晶
Macintosh PowerBook 1400c/133	603e	133	漢字Talk 7.5.3	1300 / IDE	16 / 64	128	8倍速	11.3インチTFTカラー液晶
Macintosh PowerBook 1400cs/133	603e	133	漢字Talk 7.5.3	1300 / IDE	16 / 64	128	8倍速	11.3インチFSTNカラー液晶
Macintosh PowerBook 1400cs/117	603e	117	漢字Talk 7.5.3	1000 / IDE	16 / 64	なし	8倍速	11.3インチFSTNカラー液晶



図21 SUPERmac C500/180 (ラディウス)



図22 MicroBook Power 604e/233DP (アキア)



図23 Power Macintosh 9600/200MP (アップルコンピュータ)



図24 Genesis MP 720+ (米DayStar Digital社)

“Arthurチップ搭載のプロセッサ・カードでパワー・アップ”も手

G3 PowerPCのような最新CPUは、現状ハイエンド機種にのみ搭載されている。だが、そのためだけにマシンを買い替えたくはない、というユーザーも多いだろう。また、互換機市場が先行き不透明な現状では、今後の活発な新機種投入もはや期待薄だ。

そんなPCIマックのユーザーには、最新のPowerPCプロセッサ・カードによるアップグレードという手がある。PowerPC 750を搭載した米Newer Technology社の「MAXpowr Pro」シリーズ、インタウエアの「BOOSTER 750」シリーズなどの製品が登場しつつある。

これらの製品は、前述のバックサイド・キャッシュを装備しており、劇的なパフォーマンス向上が望める。

実際、本誌97年9月号の新製品フラッシュでNewerのMAXpowr Proのベンチマーク・テストを行ったが、Power Mac 7500/100に装着したところ、最上位のPower Mac 9600/350に匹敵するスペックとなった。

極端な話、新規購入でも、型落ちの機種を安く購入して、こうしたカードで最上位機種と同等にするというも手

である。例えば新品なら、21万円程度のPower Mac 7300と15万円程度のArthurカード、合わせて36万円程度で最上位機種に迫るマシンが手に入るのだ。

PowerBookの動向

ノート型が欲しいという人は、現行機種では、AppleのPowerBook3シリーズ6モデルしか選択肢がない。デスクトップに比べると寂しい限りの状況だが、逆に「今欲しい」という人にとって機種選びは楽である。

ただ、残念なのは前述のAppleの戦略変更で、期待されていたアキア、ソーテック、PowerComputingなど互換機メーカーのCHRP準拠ノートブック・マシンの可能性が事実上消えてしまったことである。

PowerBookの動向には変化なし イチ押しはやはり2400c/180

PowerBookをメインにガンガン使いたい人であれば、現状のお勧めは間違いなく「PowerBook 2400c/180」だ。

CD-ROMドライブが内蔵できないこと、キーボードが

幅×高さ×奥行 (mm)	重さ (kg)	拡張スロット 9	その他	市場平均価格
293 × 66 × 240	3.3 ⁸	PCカード・スロット (PCMCIA Type II) × 2, 拡張ベイ 10	赤外線ポート (IrDA対応), 10BASE-T, 33.6kbps内蔵 FAXモデム	57万1400円 
293 × 66 × 240	3.3 ⁸	PCカード・スロット (PCMCIA Type II) × 2, 拡張ベイ 10	赤外線ポート (IrDA対応), 10BASE-T, 33.6kbps内蔵 FAXモデム	50万1500円 
266 × 47 × 213	1.98	PCカード・スロット (PCMCIA Type II) × 2	赤外線ポート (IrDA対応), 外付けフロッピー・ディスク装置	37万3500円  得
292 × 51 × 229	3.14 ⁸	PCカード・スロット (PCMCIA Type II) × 2, 拡張ベイ 10	赤外線ポート (IrDA非対応)	34万5600円 
292 × 51 × 229	3.14 ⁸	PCカード・スロット (PCMCIA Type II) × 2, 拡張ベイ 10	赤外線ポート (IrDA非対応)	28万6700円 
292 × 51 × 229	3.14 ⁸	PCカード・スロット (PCMCIA Type II) × 2, 拡張ベイ 10	赤外線ポート (IrDA非対応), 33.6kbpsPCカード FAXモデム	- 

8 CD-ROMドライブ内蔵時。

9 このほか、全機種にシリアル/LocalTalkポート、ADBポート、「HDI30」SCSIポート、外部ビデオ・ポート(1400シリーズはオプション)、サウンド入出力ポートが各1個備わる。

10 内蔵用のCD-ROMドライブおよびフロッピー・ディスク装置が付属する。1400シリーズと3400シリーズでは互換性がない。



図25 Pulsar 2500DP (ユーマックスジャパン)



図26 Macintosh PowerBook 3400c/240 (アップルコンピュータ)



図27 Macintosh PowerBook 2400c/180 (アップルコンピュータ)



図28 Macintosh PowerBook 1400c/133 (アップルコンピュータ)

表1 各社の問い合わせ先			
連絡先		電話番号	ホームページ
アキア		☎(0120)37-3863	http://www.akia.com/
アップルコンピュータ	アップルカスタマーアシスタンスセンター	☎(0120)61-5800	http://www.apple.co.jp/
米DayStar Digital社	丸紅エレクトロニクス	☎(03)5634-3662	http://www.daystar.com/
日本モトローラ	日本モトローラ インフォメーションセンター	☎(0473)80-6629	http://www.mot.co.jp/
ラディウス	ラディウス SUPERmac ホットライン	☎(03)5434-5761	
ユーマックスジャパン		☎(03)3451-4355	http://www.umaxjapan.co.jp/

表2 各機種に付属する主要なアプリケーション・ソフト (Performaシリーズにはこの他エンターテインメント系など20本前後付属)	
モデル名	主な付属ソフト
twentieth anniversary Macintosh	クラリスワークス4.0, Apple Internetスタータキット1.2
Power Macintosh 9600	Apple Internetスタータキット1.2
Power Macintosh 8600	STRATA VIDEOShop, Apple Internetスタータキット1.2
Power Macintosh 7600 / 7300	Apple Internetスタータキット1.2
Power Macintosh 5500	クラリスワークス4.0, アートスクールダブラー2, Kai's Photo Soap SE, 宛名職人, キューティーポケット, Netscape Navigator, クラリスメールLite, クラリスホームページ, Dr.SURF, NIFTY Manager, Appleテレコム, 研究社新英和・和英中辞典, 岩波国語辞典第五版, 乗換案内
Power Macintosh 4400 共通	クラリスワークス4.0, 宛名職人, ATOK 8, Apple Internetスタータキット1.2, クラリスホームページ, Dr.SURF, NIFTY Manager, ANGEL SOFT, Appleテレコム, 研究社新英和・和英中辞典, 岩波国語辞典第五版, 乗換案内
Power Macintosh 4400 (スタンダード)	クラリスインバクト2.0, ファイルメーカーPro 3.0
Power Macintosh 4400 (グラフィック)	Adobe Photosop LE-J, Painter 4.0
Performa 共通	クラリスワークス4.0, 宛名職人, 研究社新英和・和英中辞典, 岩波国語辞典第五版, 乗換案内, 3D アトラス, アップルインターネットダイアラ, Netscape Navigator, クラリスメールLite, NIFTY Manager, ANGEL SOFT, Appleテレコム
Macintosh Performa 6420	Avid Cinema, Kai's Power Goo LE, Adobe PhotoDeluxe, アートスクールダブラー2, Adobe PageMill, キューティーマスコット, ムービーペイント
Macintosh Performa 6410	クラリスインバクト2.0, Adobe PageMill
Macintosh Performa 5440	STRATA VIDEOShop, Adobe PhotoDeluxe, キューティーマスコット, キューティーアルバム
Macintosh PowerBook 3400	クラリスワークス4.0, Apple Internetスタータキット1.2, Apple Remote Access 2.1クライアント, FaxSTF 日本語版, 作業環境マネージャ
Macintosh PowerBook 2400	クラリスワークス4.0, Apple Internetスタータキット1.2, Apple Remote Access 2.1クライアント, Appleテレコム3.2, 作業環境マネージャ
Macintosh PowerBook 1400	クラリスワークス2.0, Apple Internetスタータキット1.0
MicroBook Power 604e	FWB HD Tool Kit PE, FWD CD-ROM Tool Kit
MicroBook Power 603e	FWB HD Tool Kit PE, FWD CD-ROM Tool Kit
StarMax 3000 / 4000	-
Pulsar 2330 / 2500	FWB HD Tool Kit, FWD CD-ROM Tool Kit
Apus 2000 / 3000	クラリスワークス4.0, FWB HD Tool Kit, FWD CD-ROM Tool Kit, Dolphin 1.0, 乗換案内, Nisus Writer 4.17, Racing Days Bundle Edition
SUPERmac S900	FWB HD Tool Kit, FWD CD-ROM Tool Kit
SUPERmac J700	FWB HD Tool Kit, FWD CD-ROM Tool Kit
SUPERmac C500	クラリスワークス4.0, 乗換案内, Nisus Writer 4.17, Racing Days Bundle Edition, E to J シリーズ 体験版, FWB HD Tool Kit, FWD CD-ROM Tool Kit

少々小さいことを除けば、高速のPCIバス・アーキテクチャー、大きさ、重さといった携帯性、画面の広さ、処理速度、装備するインタフェース、リチウム・イオン・バッテリーなど、まずは文句のないスペックだろう。

価格も9月下旬時点で37万円程度（安いところでは33万円台もある）まで下がり、ようやく値ごろ感が出てきつつある。メモリーを現在のところ拡張限界の80MBに増設しても、40万円を少し超えるほどで手に入る。

すぐ下の機種「1400c/133」は、初代PowerPC搭載機から踏襲した古いアーキテクチャーながら34万円程度。最上位機種「3400c/240」は、この数カ月で約15万円も値下がりしているが、それでも57万円程度と高価だ。他の機種には付属するCD-ROMドライブも、外付けドライブを購入してプラス3万円程度、2400cのコスト・パフォーマンスの

高さは明らかである。

PCカードもほぼ2400c対応に

PowerBookを活用するには、どんなPCカードが使えるかも重要だ（本号154ページMacScope「PowerBook 2400cを生かすPCカード活用術」参照）。

3400c / 2400cは、CardBusなどの新アーキテクチャーの採用により、PCカード・ドライバーの更新が必要となった。このため発売当初は、対応製品の数は少ないという難点があったが、今ではほとんどの製品が対応済みだ。

なお、サード・パーティー各社のPCカード製品のラインナップ、最新の機種別対応状況は、アップルのWebサイト（<http://powerbook.uz.ascii.co.jp/peripheral/pccard.html>）に詳しいので参照してほしい。

97年9月下旬現在の各機種の性能・実勢価格による分布図
日経MACが過去に行ったベンチマーク・テスト（「Norton Utilities」の「System Info」を使用）の結果と実勢価格により各機種をプロットした。

